

滝野地域小中交流を紹介します ～児童会と生徒会が SNS について協議～

7月21日（金）に滝野中学校生徒会と滝野南小学校児童会が、7月27日（木）に滝野中学校生徒会と滝野東小学校児童会が、それぞれの小学校で交流し、SNS について話し合いました。今回の小中交流は、滝野中学校生徒会が、8月10日（木）に開催予定の市内4中学校生徒会による SNS の話し合いに先立って、小学生の使用状況や問題点を聞くことを目的に開催されました。

中学生が小学生に質問する際には、まず自分たちの状況を伝え、回答しやすいように配慮していました。小学生も、自分の経験だけでなく、友達の様子から感じたこと、友だちから聞いたことを交え、丁寧に回答していました。

〈滝野中学校生徒会と滝野南小学校児童会との交流会の様子〉

小学生からは、使用上の問題点として、「すぐそこにいるのにラインで会話している。」「スマホを持っていないと話題に入れないことがある。」「時間があればすぐにスマホを触っている。」ことが、中学生からは、「テスト期間中にも関わらず夜遅くまでラインをしよう。」「スマホに夢中になってしまい、夜中まで使っている人がいる。」などの実態が報告されました。教師からの「もし、スマホがなかったらどうするか。」との問いかけには、小学生から「もっと体を動かして遊ぶ。」「もっと宿題を教えあったりできる。」「友だちともっといっぱい会話する。」など、友だちと直接つながることの大切さに気付く発言が出ました。



〈滝中生徒会と滝野南小児童会〉

その後、小中学生が一緒になったグループ討議では、「使用できる最終時刻を決める（19：30まで）。」「1時間したら10分休憩する。」「ラインを送信する前に、相手のことを傷つける表現になっていないか確認する。」「親が見ているところで使う。」などのルールが提案されました。

〈滝野中学校生徒会と滝野東小学校児童会との交流会の様子〉

小学生からは、使用上の問題点として「グループラインをつくって、学校で決められた時間帯を越えて夜遅くまでやっている子がいる。」との報告がありました。他にも、「スマホを持っている子と持っていない子とで分かれて遊んでいるときがあり、スマホを持っていない子は、スマホをさわっている子に話しかけにくい。」との意見も出ました。



〈滝中生徒会と滝野東小児童会〉

その後、小中学生が一緒になったグループ討議では、「家庭では、親の前で使用し、親がいないときには使用しない。」「親の許可を取らずに、課金をしたりアプリを入れたりしない。」「インスタやラインのアイコンに自分の顔をあげない。」「長時間使っている人もいるので、使用する時間は親と相談して決める。」などのルールが提案されました。

交流を終えた両校の小学生からは、「どうやったら SNS のルールを守れるようになるのかこれからも話し合っていく必要がある。」や「SNS は便利だけれど、個人情報漏れる危険性があるので、ルールをきちんと守って利用する必要がある。」、中学生からは、「スマホを使う年齢が低くなってきているので、ルールはそのときの状況に応じて定期的に見直していく必要がある。」等の感想が寄せられました。

今回の滝野中学校生徒会と滝野南小学校、滝野東小学校それぞれの児童会との交流は、子どもたちの思考力、判断力、行動力を高めるよいきっかけとなりました。小中一貫校では、このような交流が日常レベルででき、小中のつながりを意識したルールづくりが容易になります。